

なかよし塩川

第8号

文責：教頭（原）

遠足・社会見学など、各学年の行事

10月8日に音楽会が終わると、新型コロナウイルス感染症警戒レベルも徐々に引き下げられ、警戒レベルが高かった時に延期になった各学年の行事が次々と実施されました。前号では、4年生が椀子ワイナリーでブドウの収穫体験を行った記事を掲載しました。今回は、その後行われた各学年の行事をご紹介します。

1年 信州国際音楽村への遠足

10月15日（金）に、学校から信州国際音楽村まで歩いて遠足に行ってきました。秋晴れのとてもいい天気の中、1年生全員で、元気に行ってきました。行きは上り坂もあって大変でしたが、目的地に着くと、ホールの中を見せてもらってステージに上がらせてもらったり、おいしいお弁当を食べたり、疲れを忘れてしまいました。

食後はどんぐりを拾ったりバッタを取ったり、秋の1日を楽しんできました。みんなへこたれることなく、約10キロメートルの道のりを歩ききることができました。

拾ったどんぐりは、

図工の工作の材料にする予定です。後日、お伊勢山にもどんぐり拾いに行きました。



2年 小諸懐古園、佐久市子ども未来館への遠足

10月12日（火）に、電車に乗って遠足に行きました。大屋駅まで歩いて、駅で自分で切符を買って電車に乗りました。生活科の勉強で切符の買い方や電車の乗り方を勉強してあったので、ドキドキしただけどスムーズに電車に乗れました。



雨には降られなかったけれど曇り空でした。懐古園の遊園地は閉園していたので残念でしたが、その代わりに、いくつかの資料館を見てきました。

午後はバスで佐久市子ども未来館へ移動しました。子ども未来館には、面白いアトラクションがいっぱいあって、時間があっという間に過ぎていきました。みんな、ルールを守って楽しく過ごせました。



3年 JA信州うえだ、 信州新町方面への社会科見学

10月14日（木）に、JA信州うえだ、信州新町化石博物館、信州新町綿羊繁殖センターの3か所へ、社会科見学に行ってきました。社会科の学習と、総合的な学習の時間の活動で飼育している羊と、自分たちの学級の活動に合わせて目的地を決めました。

「わたしたちの上田市」の教科書で学習したことを、実際に見ることで確かめたり、地球が誕生してから46億年という壮大な歴史を、化石の見学を通して感じたりしてきました。

そして、繁殖センターでは、サフォーク種の飼育の仕方や繁殖センターという施設の存在とその働きについて知ったり、自分たちが大事にしている羊のヤンヤンとは違う、食用・家畜としての羊という新たな1面を知ったりしてきました。

3年生となると、話を聞くことや、熱心にメモを取るなど、「見学」という意識を持って参加している様子を感じられました。



4年 長野市見学

10月18日（月）に実施した長野市見学では、新しくなった長野県立美術館や善光寺、県庁、裁判所を見学し、長野県の政治や文化などの中心地であることを体感してきました。

この見学では、仲見世で家族にお土産を買ったり、宿坊で精進料理を昼食に食べたり、善光寺ならではの体験もしてきました。

裁判所では、裁判官が用意してくださった裁判のシナリオに沿って、検察や弁護士、裁判官に役割分担をして、実際の法廷の席に座って模擬裁判をし、最後に判決を考える体験もしました。そして、最



後の裁判官の「裁判に答えはない。困って裁判に助けを求めてきた人がいつもの生活に戻れるように、一生懸命に考えて判決を出しています。」という話に感銘を受けた子どもたくさんいました。裁判官が着る法服を全員が着せてもらい、とても貴重な体験ができました。

5年 稲刈り

10月19日（火）に晴天の中、稲刈りをしました。今回は、櫻井さんに加え、依田さん（コンバインを持ってきていただきました）、滝沢さん（苗を育て、提供していただきました）にもお越しいただき、お手伝いしていただきました。

まず、稲刈り鎌を使って、手刈りを行いました。はじめはおそろおそろでしたが、慣れてくると何束も手につかみながら器用に刈る姿も見られました。班ごとに刈り取りを行いました。役割を分担し、声をかけ合いながら、協力して行うことができました。田んぼの半分近くを刈るのに、30分以上かかりました。

続いてコンバインの登場です。大きな車体に様々な装備を備えており、それを見た車好きの子達は興味津々でした。田んぼに入って刈り始めてから本当にわずか2〜3分ほどで、残りの半分の稲刈りが終了しました（これでも性能全開ではないそうです）。しかも、脱穀も同時に行っており、すでに粃（もみ）の状態です。軽トラックの荷台に積まれた箱に移されました。

今回、手刈りとコンバインの両方を体験することができ、米作りについて様々なことを学ぶことができた子ども達でした。次は収穫祭に向け、少しずつ子ども達と計画を立て進めていきます。



6年 修学旅行

10月20日（水）、21日（木）に、松本・諏訪・下伊那・木曾・安曇野方面へ修学旅行に行ってきました。気温は低めでしたが、とても良い天気の中、旅行を楽しむことができました。

【1日目】松本城→諏訪湖遊覧船→昼食（ピアンデさくら亭でしゃぶしゃぶ）→日本聴導犬協会→三和観光農園（アップルパイ作り）→昼神温泉「ユルイの宿 患山」・伝統工芸品水引体験

【2日目】宿舎でお土産購入→寝覚ノ床→奈良井宿・木曾の大橋→道の駅ならかわで昼食（揚げ物セット）→大王わさび農場（箸作り体験）→帰校

この旅行で一番盛り上がったのは、宿舎で行った「水引体験」です。美しい色の水引を3〜5本組み合わせ編んでいくのですが、これがとても難しく、最初は苦戦していました。しかしコツをつかむと、何種類ものきれいなアクセサリーを作ることができました。子どもたちは1時間



半、ずっと集中したまま取り組んでいました。

この他にも、松本城の天守閣に登ったり、頼もしい聴導犬たちの姿を観たり、おいしいご飯やリンゴ狩り、パイ作り、奈良井宿の散策など、たくさんの経験をしました。

この2日間、友達と一緒に感動を味わい、今まで以上にクラスの中が深まりました。最初で最後の修学旅行は、最高の思い出になりました。



この2週間あまりの間に、とてもたくさんの活動がありました。どの活動を見ても、この半年間の子どもたちの成長の様子を感じられます。まさに実りの秋になりました。あと1か月ほどで2学期も終わり、令和3年が終わります。よい1年の締めくくりを意識して、充実した学校生活を過ごしていきたいと思います。

学力調査の結果から

6学年が行った、令和3年度の全国学力学習状況調査の結果について、本校の様子を次のように考察しました。

国語、算数とも全国正答率をやや下回る結果となりました。特に、記述式の問題の得点が低く、目的や意図に応じて要約したり説明したりすることに課題があることが分かりました。しかし、無回答率が低く、自分の力で解答を引き出そうとする意欲が見られるので、その良さを大事にしながらか授業改善に今後も努めていきます。

また、4・5年生が行った全国学力調査（NRT）の結果について、次のように考察しました。

4、5年生ともに全国正答率を上回る結果となりました。特に算数では様々な問題にも対応することができています。しかし、6年生同様、自分の考えを説明したり、長文から必要なことを読み取って適切に回答することに課題が見られました。日課に位置付けてある全校ドリルやチャレンジタイムでの学習の積み重ねを大事にし、さらに、授業では自分の考えをまとめて伝えていく活動を大事に位置づけられるようにしたいと思います。

学校では、今回の結果をもとにさらなる授業改善を目指していきたいと考えています。ご家庭におきましても、お子さんの家庭学習への取り組みを見守っていただくとともに、より良い生活習慣を身に着け、充実した生活をおくることができますように、ご配慮をお願いいたします。